

広報

ひゅうが

2012

7

No.686

平成24年7月1日発行



特集

今年は何にどれだけお金を使うの？
市の設計図「予算書」を解説！

平成24年度
予算を読む！

今年は何にどれだけお金を使うの？
市の設計図「予算書」を解説！

平成24年度 予算を 読む！

平成24年度
日向市一般会計予算書

基本的な考え方

平成24年度予算は、「新しい日向市総合計画・後期基本計画」の重点プロジェクト「元気な日向」未来創造プロジェクト」に掲げる「雇用の創出」・「防災力・福祉力の向上」・「人材育成」の3つの分野への十分な対応に努めました。

予算の総額は

約453億6千万円

今年度の6月補正後の一般会計の予算額は、およそ269億8千万円です。前年度当初予算に比べると3億793万円（1.2％）の増額になりました。

一般会計の予算額に特別会計と公営企業会計の予算を合わせると、約453億6千万円になります。

今年3月に市長選挙があったことから、平成24年度の当初予算は骨格予算として編成。その後、重点・新規事業について、6月補正予算で計上しました。予算の総額は、約453億6千万円。この財源がまちづくりはどう生かされるのでしょうか。わたしたちのまちの予算書から、その内容を探ります。

◀一般会計とは、市の行政サービスの根本になる福祉・教育などの予算や、道路・公園の整備などを行うための予算です。通常、市の予算といえば、この一般会計のことを指します。

◀特別会計とは、特定の目的のための会計で、国民健康保険税などの特定の収入があり、一般会計から切り離して収入、支出を経理する予算のことです。日向市には13の特別会計があります。

◀企業会計とは、民間企業と同じように事業を行い、収益をあげて運営している予算です。日向市には2つの企業会計があります。
【企業会計内訳】
・水道事業＝16億5,793万円 ・病院事業＝4億2,249万円

【特別会計内訳】		※前年度当初予算額と比較しています。
公営住宅事業	3 億8,100万円	前年度比 4,900万円(11.4%)の減
財光寺南土地区画整理事業	4,600万円	前年度比 400万円(9.5%)の増
用地取得事業	3 億200万円	前年度比 5,000万円(14.2%)の減
城山墓園事業	1,700万円	前年度比 1,100万円(183.3%)の増
簡易給水施設事業	130万円	前年度比 10万円(8.3%)の増
細島東部住環境整備事業	1,100万円	前年度と同額
簡易水道事業	2 億200万円	前年度比 6,600万円(24.6%)の減
下水道事業	19億1,100万円	前年度比 3,900万円(2.1%)の増
農業集落排水事業	1 億4,600万円	前年度比 100万円(0.7%)の減
国民健康保険事業	79億30万円	前年度比 2 億8,230万円(3.7%)の増
介護保険事業(保険事業勘定)	47億4,700万円	前年度比 5 億3,200万円(12.6%)の増
日向入郷地域介護認定審査事業	3,900万円	前年度と同額
後期高齢者医療事業	6 億円	前年度比 5,000万円(9.1%)の増

雇用創出 防災力・福祉力向上 人材育成

財政用語を やさしく解説

地方交付税 地方自治体間の財源のかたよりを調整する目的

市債 大規模な事業を行うときに

などに、国や銀行などから借り入れるお金です。

扶助費 老人福祉法などに基づいて、被扶助者に対して支給する経費です。

公債費 市が国や銀行などから借りたお金を返すための経費です。

積立金 公共施設の整備や福祉事業など、今後予想される支出に対して積み立てるお金です。

繰出金 一般会計と特別会計、または特別会計間で支出される経費です。

補助費等 他の地方公共団体への負担金や民間団体などへ交付される補助金などです。

物件費 人件費、維持補修費、扶助費、補助費など以外で市が業務を行うために支出するさまざまな経費です。

市の借入金

平成22年度末の市債残高は、一般会計が329億3938万円となっています。すべての会計をあわせると550億4409万円、市民一人あたり(平成24年4月1日現在)62,724人)にすると約88万円になります。

市債については主に、道路や学校

の建設、土地区画整理や下水道事業など多額の費用がかかる建設事業のために借り入れています。

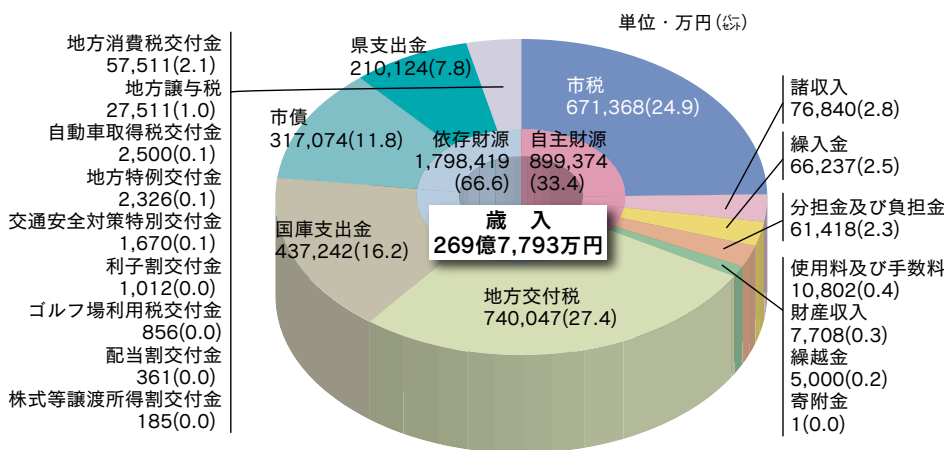
市債の中でもその目的によっては、国の集めた税金の中から償還金(返済金)の一部が交付される地方交付税の計算に算入される有利なものがありますので、今後も、市債の借り入れにあたっては、将来の財政運営に及ぼす影響を慎重に考えながら、その目的、限度額について、効果的な予算計上に努めていきます。

一般会計予算の概要

歳入予算

市税は、市民税が年少扶養控除の廃止などにより全体として増加となる見込みです。

また、国からの補助金・交付金については、国の経済対策により昨年度までは増加傾向にありましたが、経済対策の大幅な削減により減少が見込まれるほか、県からの補助金についても減少が見込まれています。このほか、財源調整のため、基金



から6億6236万円を取り崩して繰入れます。また、事業に充てる今年度の市債(借入金)は、31億7074万円を計上しました。

未来を拓く人が育つまちづくり



学校給食共同調理場建設事業 5,200万円

(担当：学校給食共同調理場 管理係)

平成26年9月の供用開始を予定している日向市学校給食共同調理場建設にあたって、建設用地の取得、用地造成設計、建物実施設計などに着手します。

財源 日向市の負担額＝5,200万円

こども議会に要する経費 12万円

(担当：学校教育課 学事係)

市内各小中学校から推薦されたこども議員21人が登壇。普段感じていること、夢、希望などを質問(発表)し、市長、教育長、関係部長が答弁をすることも議会を開催します。

主な経費 参加者記念品＝2万円 需用費＝10万円

英会話科推進事業 3,696万円

(担当：学校教育課 教育指導係)

児童・生徒の英会話の実践的コミュニケーション能力の向上を図るため、英会話科教育を推進します。
▶すべての小中学校に外国語指導助手(ALT)を派遣。
▶英会話科アドバイザーを配置し、教員への指導や教材開発などを推進。
▶宮崎国際大学との連携。

主な経費 ALT雇用に係る経費＝3,280万円 推進指導員に係る経費＝248万円 テキスト印刷代＝112万円 旅費・需用費など＝56万円

障がいのある児童生徒の教育の 充実に要する経費 2,373万円

(担当：学校教育課 教育推進係)

小中学校に特別支援教育支援員を配置し、病気や障がいなどにより特別な支援が必要な児童生徒の学校生活を支援します。

主な経費 支援員の雇用に係る経費＝2,362万円 旅費・需用費など＝11万円

放課後子ども教室推進事業 970万円

(担当：生涯学習課 生涯学習係)

市内の小規模小学校6校区の余裕教室などを活用し、放課後に子どもが学習活動や体験活動を行うための拠点づくりを行います。

主な経費 安全管理員等謝金＝489万円 事業委託料＝414万円 旅費・需用費など＝67万円

牧水顕彰事業 508万円

(担当：文化スポーツ課 若山牧水係)

郷土の歌人若山牧水を顕彰し文化の振興を図るとともに、生誕の地「日向市」を全国に発信します。
▶第2回牧水・短歌甲子園 ▶第62回牧水祭
▶第2回青の国若山牧水短歌大会
▶第17回若山牧水賞

主な経費 事業委託料＝360万円 若山牧水賞運営委員会負担金＝50万円 旅費・需用費など＝98万円

児童サービスに要する経費 148万円

(担当：図書館 図書館係)

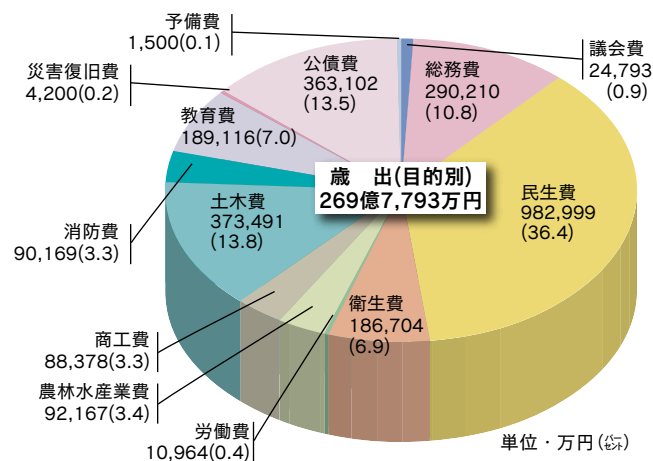
市内すべての赤ちゃんとその保護者を対象に、乳幼児健診などの機会を利用して、絵本の読み方や与え方などを説明します。また、あわせて絵本を配布します。

主な経費 ブックスタート・ブックスタートプラス事業に要する経費＝144万円 そのほかの需用費＝4万円

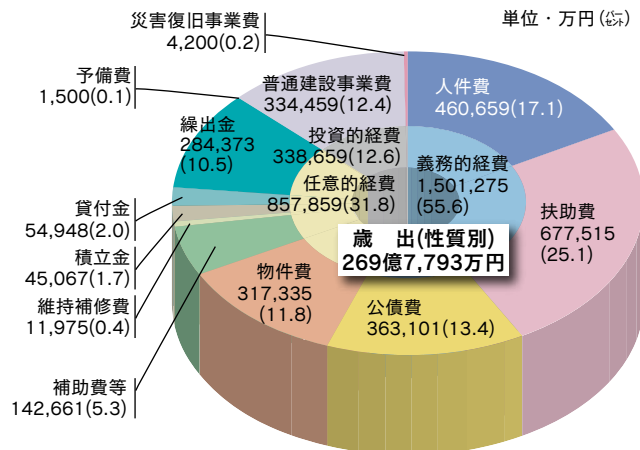
歳出予算

目的別にみると、障害者福祉費、児童福祉費、生活保護費などが増加している民生費が最も多くなり、港湾や道路の整備を目的とする土木費、市債(借入)に対する償還(返済)が目的の公債費と続いています。

職員人件費が減少した衛生費、高機能消防指令センターの整備が終了した消防費、共済費が減少した議会費、県の基金事業が減少した労働費、市債の返済を目的とする公債費は減



少し、そのほかは増加しています。性質別にみると、生活保護費や児童手当、児童扶養手当などの扶助費が最も多く、次いで職員給与や議員ほか各種委員報酬などの人件費、公債費、普通建設事業費と続きます。職員給与や退職手当が減少した人件費と日向東臼杵南部広域連合への負担金等が減少した補助費等、公債費が減少し、そのほかは増加しています。



▶平成24年度予算市民1人あたりの 使いみちは430,105円です

今年度一般会計の歳出予算総額(目的別)を平成24年4月1日現在の日向市の人口62,724人で割りました。

さらに目的ごとの使いみちを1人あたりでみると

民生費	156,718円	福祉や保育所の運営などに使う費用
土木費	59,545円	道路の建設、区画整理、河川の維持などに使う費用
公債費	57,889円	国や金融機関から借りたお金を返済するための費用
総務費	46,268円	市の事務や財産管理に使う費用
教育費	30,150円	小中学校教育や社会教育・体育事業に使う費用
衛生費	29,766円	保健・衛生・環境業務に使う費用
農林水産業費	14,694円	農林水産業の振興などに使う費用
消防費	14,376円	消防や救急業務、防災活動などに使う費用
商工費	14,090円	商工業の振興や企業誘致、観光振興などに使う費用
議会費	3,953円	議会活動に使う費用
労働費	1,748円	雇用対策に使う費用
災害復旧費	670円	道路や農業施設などの災害復旧に使う費用
予備費	239円	緊急時に備えるための費用
合計	430,105円	市民1人あたりの一般会計予算額

次ページから新しい日向市総合計画の分野別に今年度の事業を紹介します。

III 元気で活力ある産業が育つまちづくり



重要港湾整備事業 6億7,432万円

(担当：商工港湾課 港湾・企業立地係)

平成22年8月に「重点港湾」に選定された「細島港」の港湾機能を整備・充実させるため、国・県が進める沖防波堤などの外郭施設や岸壁などの港湾施設の整備に對しての10%を負担します。

主な経費 事業費負担金＝6億7,432万円

企業誘致推進事業 7,778万円

(担当：商工港湾課 港湾・企業立地係)

企業立地環境を最大限に生かした、積極的な企業誘致を推進します。

- ▶企業立地奨励金 6,248万円
- ▶雇用促進奨励金 1,100万円

主な経費 奨励金＝7,348万円 旅費、需用費等＝430万円

中小企業特別融資事業 3億9,140万円

(担当：商工港湾課 商工振興係)

市と金融機関が資金を拠出し、市内の中小企業者に融資、利子補給、保証料を補助します。

- 内 訳**
- ▶中小企業特別融資貸付金＝3億6,400万円
 - ▶中小企業特別融資制度保証料補助金＝1,700万円
 - ▶口蹄疫緊急対策資金利子補給補助金＝870万円
 - ▶口蹄疫復興中小企業融資制度信用保証料補助金＝170万円

観光客誘致推進事業 459万円 観光振興事業 2,198万円

(担当：観光振興課 観光振興係)

日向市の観光を盛り上げるため、次のような観光振興事業などに取り組みます。

- ▶日向の郷土食の開発 ▶観光ボランティア育成事業 ▶観光タクシー運行助成実証事業 ▶ひゅうがお舟出プロジェクト(古事記1300年記念事業)

主な経費 事業費補助金＝2,248万円 実証実験委託料＝80万円 旅費・需用費など＝329万円

物流等対策事業 3,474万円

(担当：商工港湾課 港湾・企業立地係)

外貿定期コンテナ航路の新規就航並びに拡充を図るため、貨物集荷奨励事業などを強化します。

- ▶貨物集荷奨励金 3,000万円
- ▶船舶給水料金負担金 300万円

主な経費 奨励補助＝3,000万円 負担金、旅費など＝474万円

住宅リフォーム促進事業 2,437万円

(担当：商工港湾課 商工振興係)

個人住宅の増改築・太陽光発電システム設置費用の一部を補助します。

- ▶住宅リフォーム促進事業補助金＝1,500万円
- ▶太陽光発電システム設置促進事業補助金＝800万円

主な経費 奨励補助金＝2,300万円 賃金など＝137万円

新平兵衛酢振興対策事業 350万円

(担当：農業水産課 農業振興係)

日向地域特産の「へべす」のさらなる消費拡大、販売促進のための事業に取り組みます。

- ▶販売促進活動の実施
- ▶「へべす」ホームページの開設
- ▶プロモーションビデオの作成

主な経費 事業補助金＝350万円



健康で安心してくらせるまちづくり II



同報系防災行政無線整備事業 1億5,000万円

(担当：防災推進課 防災施設係)

災害時などの情報伝達の拡充・強化を図るため、同報系防災行政無線のデジタル化と、未整備地区への整備を行います。

- ▶市役所親局・消防本部遠隔操作卓の整備 ▶中継基地局の整備 ▶屋外拡声子局の整備 ▶戸別受信局の設置 ▶監視カメラの設置

財 源 日向市の負担額＝1億5,000万円



子宮頸がん等ワクチン接種促進事業 8,325万円

(担当：こども課 子育て支援係)

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンの接種を促進するため、接種費用を助成します。

主な経費 接種委託料＝8,300万円 需用費など＝25万円

地震・津波防災施設整備事業 4,000万円

(担当：防災推進課 防災施設係)

地震に伴う津波発生時に浸水が想定される地域において、高台へ一時的に避難する手段を確保するために、避難路や街路灯を整備します。

- ▶避難路の整備＝12か所 ▶街路灯の整備＝5基

財 源 日向市の負担額＝4,000万円

保育所等整備事業 1億6,065万円

(担当：こども課 こども福祉係)

老朽化した保育園の建て替えや大規模修繕に対し、県の基金を活用し補助金を交付します。

- ▶伊勢ヶ浜保育園＝建替え ▶大王谷保育園＝大規模修繕

財 源 県の補助金＝1億710万円 日向市の負担額＝5,355万円

がん検診推進事業 1,312万円

(担当：いきいき健康課 健康づくり係)

国が定める対象者に無料検診クーポン券を配付し、受診率の向上を図り、がんの早期発見・早期治療に取り組みます。

- ▶対象 子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診

主な経費 委託料＝1,060万円 需用費・賃金など＝252万円



地域包括支援センター運営体制の充実 6,700万円

(担当：高齢者あんしん課 介護保険係)

市内6か所に地域包括支援センターを設置し、地域の高齢者の総合相談・支援を身近な窓口で行なうことで、高齢者の保健・福祉・医療の向上や生活の安定のために必要な援助、支援を行います。

主な経費 事業委託料＝6,700万円

障がい児通所支援事業 3,010万円

(担当：福祉課 障がい者支援係)

障がい児の日常における基本的な生活習慣や集団生活への適応などを専門的に指導するため、障がい児通所事業所への支援を行います。

主な経費 支援給付費＝3,000万円 手数料＝10万円

V 活発な交流により豊かさが享受できる まちづくり



市民活動推進事業 3,949万円

(担当：市民協働課 市民協働係)

市民活動団体などが主体となった企画提案事業に対して、活動費の一部を助成します。また、「新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業」では、平成22年度から取り組んでいるモデル地区を検証、ほかの地区への拡大を推進します。平成24年度から東郷地区が新たにモデル地区に加わります。

主な経費

運営補助・事業補助=2,950万円 市民活動支援基金積立金=800万円 講師謝金・事業委託料など=199万円

自治公民館整備事業 500万円

(担当：市民協働課 市民協働係)

宝くじの社会貢献広報事業を活用し、自治公民館のコミュニティ機器を整備します。

- ▶別府公民館=屋外放送設備など整備
- ▶堀一方区=自治公民館備品の整備

主な経費 事業補助=500万円



地域情報化整備事業 5,118万円

(担当：企画情報課 情報政策係)

携帯電話の不感地区である東郷町越表下渡川地区に携帯電話基地局を設置します。

財源

国の補助金=3,412万円 県の補助金=682万円
事業者負担金=569万円 日向市の負担額=455万円

過疎対策道路改良事業 600万円

(担当：建設課 土木建設係)

東郷町小野田集落と大谷集落を結ぶ、市道小野田大谷線を改良します。



財源

日向市の負担額=600万円

持続可能な集落づくり支援事業 250万円

(担当：企画情報課 政策推進係)

過疎対策として、高齢化率の高い集落に集落支援員を配置し、地域の現状・課題を把握し、集落の維持・活性化策を検討します。

- ▶支援員配置予定地区 迫野内、仲深、坪谷、越表の4地区

主な経費 集落点検委託料=86万円 支援員報償金など=164万円

新しい日向市総合計画(平成19～28年度)キャッチフレーズ

市民が奏でる “交響、空間
優しく 強く 温かい 人とまち

※紙面の都合で、重点・新規事業を抜粋して掲載しました。詳細な事業などは、市ホームページをご覧ください。また予算に関する質問・意見、市政に対する提言などもお待ちしております。

問財政課(☎内線2338)

【おことわり】
平成24年度6月補正予算については、本特集記事編集時点(6月22日現在)で開会中の6月議会において議決されて、はじめて執行できることになります。あらかじめご了承ください。

自然と共生した快適な環境のまちづくり IV

富高慰霊塔敷地トイレ改修事業

430万円

(担当：福祉課 福祉政策係)

富高慰霊塔近くにある老朽化したトイレを解体撤去し、新しく設置します。



財源

日向市の負担額=430万円

都市公園管理運営費 3,099万円

(担当：市街地整備課 公園街路係)

東日本大震災を受けて、地震・津波時に一時的避難場所となる公園のトイレなどを整備します。

- ▶日向台第一公園トイレの設置
- ▶都市公園入口などの段差解消(スロープ設置)工事=6か所

主な経費 施設維持管理委託料=1,818万円 トイレ等設置工事費=583万円 需用費、役務費など=698万円

景観まちづくり推進事業 170万円

(担当：まちづくり政策課 都市景観係)

景観計画の策定を進めている美々津・幸脇地区で、夜間景観の実証実験を行うために、スポット照明や竹灯籠を用いてライトアップします。

主な経費

社会実験委託料=50万円 景観審議会委員報酬、講演会講師謝金、旅費など=120万円

財光寺汚泥処理場改築・更新事業 550万円

(担当：環境整備課環境公害係)

老朽化した財光寺汚泥処理施設長寿命化更新計画策定のための基本調査を行います。



主な経費 更新計画策定委託料=550万円

日向市木造住宅耐震化推進事業 563万円

(担当：建築住宅課 指導係)

昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震性の向上を図るため、耐震診断や耐震改修に要する費用の一部を助成するほか、耐震診断アドバイザー派遣事業を実施します。

主な経費

事業補助金=542万円 需用費など=21万円

財光寺南土地区画整理事業 6億1,580万円

(担当：市街地整備課 区画整理係)

当該地区は幅員が狭い道路が多いため、街路網の整備をして良好な住環境を造ります。

今年度は、家屋移転、道路築造、宅地造成に取り組みます。

財源

国の補助金=2億9,635万円 日向市の負担額=3億1,945万円

駅周辺土地区画整理事業 6億7,600万円

(担当：市街地整備課 街なか整備係)

中心市街地の活性化とにぎわい創出を図るため、駅周辺の都市基盤整備を推進します。今年度は、街路整備や家屋移転を行います。

財源

国の補助金=2億9,786万円
日向市の負担額=3億7,814万円



みんなが主役 牧水の里のまちづくり ―

市が取り組む「新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業」も今年で3年目。このたび、細島、平岩、塩見に加え新たに東郷地区に「東郷まちづくり協議会」が設立されることになり6月10日(日)、東郷体育館で地域住民ら300人が参加し、設立総会が開かれました。

旧東郷町は、平成18年2月25日に日向市と合併。その後6年間、地域自治区が置かれ、黒潮文化と森林文化の融合をキャッチフレーズに早期一体化を目指してきました。

この間、地域自治区終了後の新しいまちづくりの形について協議を重ね、新しい地域コミュニティ組織設立に向けて準備を進めてきました。総会では会長に小川澄雄さん(鶴野内・63歳)のほか8人の役員を選出。小川会長は「地域で暮らす人だれもが活動しやすい環境づくりに努めたい」とあいさつしました。

「みんなが主役 牧水の里のまちづくり」を東郷まちづくり協議会のスローガンに、青少年育成、生活環境、福祉・健康づくり、地域産業、文化・広報の5つの専門部会を設けて、子どもや高齢者の見守り、植栽



▲東郷体育館には地域の人があふれ、地元の太鼓グループ「冠太鼓」の演奏が設立総会に花を添えた。

東郷まちづくり協議会が、新しくスタート

運動、広報紙の発行などの重点施策に取り組みます。

会の終わりに参加者を代表し、横山果菜恵さん(富島高校2年・仲深)が「地域住民の一人として、地域に関心を持ち、積極的に地域の活動に参加していきます」と宣言文を朗読。会場にはたくさんさんの拍手が起り、新しい「まちづくり」の第一歩を踏み出しました。

●市民協働課市民協働係
(☎内線6252)

歴代日向市長では初めて。任期は1年 ―

就任にあたって

このたびの第82回全国市長会議で副会長を拝命し、責任の重さに身の引き締まる思いです。

今、我が国は政局の混迷、そして円高、デフレ、産業空洞化に伴う雇用不安、ヨーロッパに端を発した金融不安、加えて「3.11」による原子力発電所の事故など、有史以来の「危機の中の危機」に直面しているといっても過言ではありません。

今こそ、全国810の市が、森会長を中心に丸となってネットワーク力を強め、「日本丸」の復興、再生に向かって行動を起こす時であると思っています。

微力ではありますが、森会長を補佐しながら、真の分権型社会の実現に向けて、全力を傾注したいと考えております。

平成24年6月6日

全国市長会副会長(宮崎県日向市長)

黒木 健二

都内で6月6日に開かれた第82回全国市長会議通常総会で、黒木健二日向市長が全国市長会(全国810市長で構成)の副会長(全国各支部選出9人)に選出されました。

全国市長会は、住民生活や地方に関わる制度設計、政策の具体化に向け、住民に最も身近な自治体としての意見や要望を政府、国会などに提出するなどの活動を行っています。

また、黒木市長は政策審議機関の「財政委員会」と、特別委員会「政策推進委員会」に所属します。



▲就任のあいさつする黒木市長。6月6日の第82回全国市長会議。東京都のホテルニューオータニで。

黒木市長が全国市長会副会長に就任

次世代のクリーンエネルギー 太陽光発電システム設置を補助

市民の皆さんの住環境の整備や市内産業の活性化および雇用の促進を目的とした「日向市住宅リフォーム促進事業」と、新エネルギーの活用による地球温暖化防止対策を推進する「日向市太陽光発電システム設置費補助事業」。市は次のとおり、平成24年度の申請をそれぞれ受け付けます。

住宅リフォームを応援

▶日向市住宅リフォーム促進事業

●補助の対象となる工事

①住宅の修繕、改修および増築 ②壁紙、床板、屋根および外壁の塗り替え ③そのほか住宅本体に関する設備工事

●補助の条件

- ・対象工事費が20万円以上であること
- ・市内の登録された事業者が工事を行うこと(原則、下請業者も同じ)

- ・市の承認を受けて工事に着工すること

●補助額 対象工事費の10%以内(上限10万円)

●補助の予定件数 150件程度

※1 平成22、23年度に小規模工事等契約希望者登録制度に登録していた事業者も、再度、登録申請が必要となります。この登録制度については、市ホームページ、または契約管理課(☎内線2263)まで問い合わせてください。

▶日向市住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

●補助の対象となる発電システム

①未使用のもの ②住宅の屋根などへの設置に適したもので、余剰電力を電力会社に売電することができるもの ③公称最大出力が10KW未満のもの ④太陽光発電普及拡大センター(J-PEC)が行う「住宅用太陽光発電導入支援補助事業」の要件と同等の性能を持つもの

●補助対象者

- ・自らが居住する市内に既存または新築の戸建住宅(店舗兼住宅を含む)に発電システムを設置しようとする人
- ・電力会社と電灯契約を結んでいる、またはこれから結ぼうとする人

●補助額 1KWあたり3万円(上限10万円)

※ただし、県内で製造された製品の場合は、1KWあたり5万円(上限15万円)です。

●補助の予定件数 70件程度

7月23日(月)から随時受け付けます

共通事項

- 受付開始 7月23日(月)から随時受け付けます。なお予算額に達し次第、受付を終了します。
- 補助の条件、対象者 ・市税(国民健康保険税を含む)の滞納がないこと。 ・これまでに同事業を利用したことがないこと。 ※補助金交付決定前に工事着工もしくは完成している場合は、補助対象外になります。補助の条件、補助対象などの詳細については、事前に問い合わせてください。

☎商工港湾課商工振興係 ☎内線2635

TOPICS

口蹄疫禍から2年

県内各地で大きな被害をもたらした平成22年の口蹄疫禍。国内初の口蹄疫ワクチン接種で犠牲となった市内の家畜1495頭の霊を慰めようと東郷町日田尾と寺迫の共同埋却地2か所で6月3日、畜魂供養祭が開かれました。式には畜産農家や関係者などそれぞれ約50人が出席。畜魂碑に献花し祈りをささげ、埋却地に向け黙とう。一日も早い再生復興と防疫の徹底を誓いました。



誓い新たに。毎月20日は「一斉消毒の日」

梅雨入り前に、危険箇所点検

大雨による土砂災害や浸水被害などが心配される時期を前に市は5月29日、警察や自衛隊など6機関に呼び掛け、災害危険箇所点検を実施しました。一行は市内4か所を実際に訪れ、それぞれの災害危険箇所について、今後の対策を検討しました。一般的に土砂災害には前兆現象があります。土砂災害から身を守るためには、前兆現象を発見したら早めの避難を心がけましょう。



湧水の増加、流水の異常な濁りなどに注意

夏を先取り 砂の造形大会

伊勢ヶ浜海水浴場で5月20日、「日向の自然とふれあい、子どもたちに夢を」をテーマに第25回砂の造形大会が開かれました。家族や学校、職場のグループなど37組612人が参加。あいにくの雨模様のなか、手で砂を固めたり、スコップを使ったりして、動物やアニメキャラクターなどの造形を楽しみました。写真は、団体の優勝作品「クロコダイル」。制作は「ネイト」の皆さんです。



家族の絆や、友情を深める楽しい一日に

夏の旬「へべす」 出荷始まる

日向市平兵衛酢振興会会長の成合利浩さん(写真左=塩見・48歳)が6月13日、収穫したばかりの日向特産「へべす」を持って市長を訪ねました。さっそく旬を味わった黒木市長は「私の健康の秘訣はへべす。いつも果汁をドリンクに」と満悦の表情。成合会長は「夏はへべす、日向といったらへべすと定着するよう、さらにPRに力を入れたい。まずは県内から」と力強く語りました。



消費拡大を目指して、新たな挑戦

4千のメッセージ 被災地へ

市民が寄せた応援メッセージや支援金などを届けに4月、福島、宮城の被災地を訪問した、谷口庄司さん(市社会福祉協議会)、大野祥二郎さん(同)、岩倉正仁さん(同)、黒木尚さん(市ボランティア連絡協議会)、伊森参議さん(会社代表)5人。報告会は6月12日あり、交流を深めた被災者などの近況を報告。「まだまだ支援が必要。なにか行動を」とやさしさのリレーの必要を訴えました。



震災復興応援こいのぼりプロジェクト

日向木挽唄 全国一を決定

第26回日向木挽唄全国大会が6月9日・10日の2日間、市文化交流センターなどで開かれ587人が出場。かすりの着物や木挽きの衣装を身まとった出場者は、尺八の演奏にあわせ、声高らかに熱唱し自慢ののどを競いあいました。本市出場者では、少年少女低学年の部で竹中優風さん(日知屋東小3年)、一般男性青壮年の部で佐藤友行さん(財光寺・58歳)2人が見事優勝しました。



ヤーレー 山で子が泣く 山師の子じやろー

Himuka International Festival



パネルディスカッションに参加した5人

① ジェイミー・ハバードさん 宮崎市在住、タレント。元三股町国際交流員、オーストラリア出身。
② 劉偉地(りゅう いち)さん 東京都在住、中華人民共和国駐日本国大使館勤務(二等書記官兼領事)。第2代日向市国際交流員、中国イ坊市出身。
③ クレイグ・クレイカーさん 東京都在住、オーストラリア大使館領事部勤務、第7代国際交流員、オーストラリア出身。
④ クリストファー・オブライアンさん 日向市ALT、イギリス出身。
⑤ アル・ザッカさん 日向市市民協働課勤務、第10代日向市国際交流員、カナダ出身。



ステージでは、富島高校和太鼓「やまび鼓」とアフリカ太鼓「B・bross」が共演、またアフロ日向のハワイアンダンス・タヒチアンダンスのほか、うなまエイサー琉星會が沖縄の伝統芸能エイサーを披露。多国籍メンバーのバンド演奏などもあり、次々に登場する国際色豊かな音楽や踊りに、会場は盛り上がりました。

パネルディスカッションでは、過去に日向市国際交流員として活動した経験のある劉偉地さんやクレイグ・クレイカーさんら5人がパネラーとして参加。中学校生からの「日本の好きなところ」という質問に、劉さんは「とても礼儀正しい。日向の人は、特に親切だと思う」、また、日向出身の女性と結婚しているクレイグさんは、「外国語が上達するには」という質問に「コミュニケーションを取ろうという気持ちが必要。海外に出るのが上達の早道」と答えていました。

国際交流や異文化の理解につながるさまざまな活動に取り組んできた同協議会。会長の那須久司さん(41歳・財光寺)は「今後もたくさんの方々が国際交流を楽しめる場を提供したい」と話していました。

第19回牧水ふれあいうなぎつかみどり大会
7月29日(日) am10:40集合
～子どもたちは軍手を持って牧水公園に集合～

第19回牧水ふれあいうなぎつかみどり大会が7月29日(日)、東郷町坪谷「牧水公園」ふるさとの家「よこ水路」で開かれます。

当日は、うなぎ・マスあわせを1000匹を放流。参加対象は中学生以下で、今回はうなぎ価格高騰により一人300円の参加費を徴収させていただきます。もちろん、今年も幼児用プールも設置しますので、ゆつくりと安全にお楽しみください。

また、すてきな景品の当たる抽選会なども企画していますので、たくさんの方々の来場をお待ちしています。

●日時 7月29日(日)、午前11時から。小雨決行。※増水の場合は、8月5日(日)に延期。

●場所 東郷町坪谷「牧水公園」

●東郷町商工会青年部
☎69・2075

7月29日(日) am10:40集合

～子どもたちは軍手を持って牧水公園に集合～

第19回牧水ふれあい
うなぎつかみどり大会



宮愛姫ちゃん
2さい(日知屋)
元気で笑顔のたえない
愛ちゃんが大好きです
(^o^)-☆



野尻 徠斗ちゃん
2さい(永江町)
2歳おめでとう！すくすく大きく育ってね(*/ω*)



中村 愛菜ちゃん
1さい(平岩)
お誕生日おめでとう☆元
気と笑顔いっぱい愛菜
ちゃん♪みんな大好き♡



寺原 璃杏ちゃん
2さい(羽城)
★我が家のアイドル♪ま
わりのみ〜んなに愛され
て幸せです☆



菊池 梨月ちゃん
1さい(新生町)
happybirthday♡
すくすく育ってね♪



☎携帯電話で撮影した写真を、左のQRコードでらくらく送信。誕生日の記念に、お子さんのかわいい写真を投稿してみませんか？
●掲載対象＝今月1・2・3歳の誕生日を迎えた乳幼児。●投稿方法＝Eメール(携帯含む)。子どもの氏名(ふりがな)・住所・年齢・保護者の連絡先、および30文字程度のコメントを記載して、デジタルカメラや携帯電話などで撮影した高画質写真を添付して送信してください。
※投稿多数の場合、掲載できない場合もあります。●送信宛先 ☎ public@hyugacity.jp ●総務課秘書広報係(内線☎2235)

こんにちは赤ちゃん事業も2年目 さまざま子育て情報をお届けしています

市は、赤ちゃんの健やかな成長や楽しい子育てを応援するために、昨年6月から「こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)」を実施しています。

子育ては「うれしい、楽しい」だけではなく、不安や悩みはつきものです。お母さんがこれから子育てをするなかで、1人で不安を抱え込まないように赤ちゃん訪問員が解決のお手伝いをさせていただきます。

おおむね生後4か月までの赤ちゃんがいる家庭に、おめでとうの気持ちとともに、子育てに役立つ情報をお届けに伺うのは、市で研修を受けた赤ちゃん訪問員17人です。今年度から新しく5人が加わりました。

- ＊ ＊
- 対象者 生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭
 - 訪問時期 おおむね生後2か月から3か月
 - 訪問スタッフ 市で研修を受けた子育て経験者や保育士、看護師、歯科衛生士などの「赤ちゃん訪問員」

●訪問方法 直接家庭に伺います。訪問時間は、15分から20分程度です。子育てに関するお話などを聞かせてください。なお訪問員は市が発行する訪問員証を携帯しています。

●訪問内容 子育てに関するさまざまな情報を提供します。

支援が必要な場合には、保健師や助産師などの専門職の訪問につなげたり、子育てサークルなどを紹介したりするなど、必要に応じて適切なサービスに引き継ぎます。

予防接種実施医療機関に「なでしこ内科」を追加

上町にある「なでしこ内科(☎57・3860)」で、次の予防接種が受けられるようになりました。

- ▶子宮頸がん予防ワクチン 接種を受ける際には、必ず電話で予約してください。接種当日は、母子健康手帳を持参してください。
- ☎こども課子育て支援係(☎内線2196)

広域連携による小児科医の日曜・祝日などの在宅当番医

7月1日 (第1日曜日)	田原病院 (延岡市伊達町2-62)	☎0982・32・4987
7月8日 (第2日曜日)	桜ヶ丘ファミリークリニック (延岡市夏田町414-1)	☎0982・28・2280
7月15日 (第3日曜日)	又木小児科医院 (延岡市平原町1-839)	☎0982・34・3551
7月16日 (海の日)	赤須内科小児科医院 (延岡市桜園町128)	☎0982・21・2155
7月22日 (第4日曜日)	大王谷こどもクリニック (日向市亀崎西2-155-1)	☎0982・50・2000
7月29日 (第5日曜日)	おきしま小児科 (延岡市大貫町4-1338-1)	☎0982・33・0222

- ①小児科の診療時間は、午前9時から午後6時までです。
- ②当番医は変更になる場合もありますので、受診前に必ず電話で確認してください。

乳幼児健診

●3か月児健診は、受診票を持参して、市内医療機関で受診してください。

対象＝平成24年4月生まれ
●7か月児健診
対象＝平成23年12月生まれ
日時＝7月18日(水)、25日(水)
受付＝午後0時45分から1時15分まで

●1歳児健康相談
対象＝平成23年6月生まれ
日時＝7月19日(木)
受付＝午前9時30分から10時
●1歳6か月児健診
対象＝平成22年12月生まれ
日時＝7月5日(木)
受付＝午後1時から1時30分まで

●3歳児健診
対象＝平成20年12月生まれ
日時＝7月11日(水)
受付＝午後1時から1時30分まで
●会場 市民健康管理センター
※母子健康手帳を忘れず持参してください。対象児保護者には案内を郵送しています。
☎子育て支援係(☎内線2196)

+おもちゃ病院ひゅうが

●日時 7月14日(土)、午後1時から4時まで、日向市総合福祉センター(富高207-3)で。
☎事務局 ☎66・0570(高橋)

日向市東臼杵郡医師会
テレフォンサービス
☎53・1214
☎http://hyuga-ishikai.jp/
※予告なく変更する場合があります。受診前に、必ず各医療機関に電話で確認してください。

日曜・祝日などの在宅医

Let's support child raising together in our community.

小さな笑顔は未来の力 みんなで育てよう "ひゅうがっ子"

日向市「子育て応援宣言」

自由に使える赤ちゃんスペースを準備しました

市立図書館などが「赤ちゃんの駅」に登録

乳幼児を連れての外出中、授乳やおむつ替えの時、気軽に利用できる施設があったらいいなと思ったことはありませんか？市立図書館などはこのたび、安心して自由に利用できる授乳スペースなどを準備して、NPO法人みやざき子ども文化センターが募集した「赤ちゃんの駅」に登録しました。

現在、県内250施設、市内では南日向コミュニティセンター、NPO法人こども遊センター、日知屋幼稚園・大王谷幼稚園・日知屋東幼稚園・富高幼稚園・夾竹園日向店が登録中です。同センターは、安心して子育てできる環境を整備するため、登録施設を募集しています。☎NPO法人みやざき子ども文化センター ☎0985・61・7590

図書館内の様子



「赤ちゃんの駅」とは、誰でも自由におむつ替えや授乳が行えるスペースの愛称。このステッカー、フラッグが目印です。

2 おむつ替えのできるシートがあります

1階の多目的トイレに、おむつ替えシートを設置しています。



1 授乳できるスペースがあります

1階にあるどんぐり広場に、カーテンで仕切れる授乳スペースを設置しています。



3 ミルク用のお湯を提供します。

依頼を受けてから沸騰させますので、3分ほど時間をいただきます。



ブックスタート展開中 本に親しみ、こころすこやかに



ブックスタートとは、1990年にイギリス・バーミンガムで始まった「赤ちゃんとお本を通して楽しい時間を分かちあおう」という運動です。7か月児健診のときに、絵本や子育てアドバイス冊子などが入ったブックスタートバックを配布します。

7月のおはなし会
～親子で「絵本の読み聞かせ」～
●場所 市立図書館
●乳幼児向け(毎週木曜日)
5日 12日 19日 26日
午前10時30分から11時まで。
●幼児向け(毎週水曜日)
4日 11日 18日 25日
午後3時30分から4時まで。
●小学生向け(毎週土曜日)
7日 14日 21日 28日
午前11時から11時30分まで。

子ども映画上映会
●7月8日(日) 午前10時30分
「きつねの嫁入り」「熊と狐」「たまごにいちちゃん」「こんにちはたまごにいちちゃん」「がんばる！たまごにいちちゃん」の5本。
●8月12日(日) 午前10時30分
「八つ化け頭巾」「クラゲの骨なし」「ハローキティのペンゼンとグレート」「マイメロディの赤ずきん」の4本。
新しく入った本 ▼極限環境の生き物たち(大島泰郎／技術評論社) ▼不登校児再生の島(奥野修司／文藝春秋) ▼しゅうぶだ！ぴゅんすけとびった(串井てつお／PHP研究所) ほか。

おすすめの本 ～Recommended Books～

日本全国納豆大博覧会



年に1度開催される「全国納豆鑑評会」の過去10年の受賞銘柄をもとに、選りすぐった納豆を実物大写真とともに収録。メーカーからのコメントや添加物の有無、取り寄せ方法なども掲載する。

小泉武夫／監修 東京書籍

童謡の玉手箱



「さくらさくら」「われは海の子」(村祭)…。親から子へと伝えたい美しい歌詞とメロディーを持つ童謡・愛唱歌を、分かりやすい解説と情感あふれる切り絵で紹介。『神戸新聞』連載を単行本化。

合田道人／文 神戸新聞社

たなばたウキウキねがいごの日！

友だちがいないたぬきのボコくん。七夕の日、ボコくんはある願いを短冊に書きます。でも、短冊は風に飛ばされて…。楽しいお話はもちろん、七夕伝説や、七夕飾り、料理のレシピなど、七夕にまつわるいろんなことがわかる絵本。

ますだゆうこ／文 文溪堂



正しく知って、食中毒を防ごう！

食中毒を予防する5つのポイント

health

暑

い夏がやってきました。気温が上昇し湿度が増すこの時期は、食べることに對しても注意が必要です。その中で最も重要なものの1つが食中毒の予防です。

食中毒とは、原因となる細菌やウイルス、化学物質などで汚染された食品やふぐ毒や毒きのこなどを摂取することによって起こります。吐き気や嘔吐、腹痛などの胃腸症状や神経障害などが代表的な症状ですが、悪化して重篤になるケースもありますので十分に注意してください。

食中毒予防で大切なのは、加熱による殺菌と細菌やウイルスを食品につけない・増やさないことです。目に見えないものなので、手洗いはもちろんしっかりと対応が必要です。

食中毒予防のポイント！

- ①なるべく新鮮なものを必要に応じて購入しましょう。家にある在庫をチェックし、購入するときには賞味・消費期限を確認しましょう。
- ②適温で、適切な場所に保存しましょう。
- ③よく洗い、しっかりと加熱しましょう。
- ④料理のつくり置きはやめ、調理したものはなるべく早く食べましょう。

7月24日㊦、集団健(検)診を実施します

内容 特定健診・長寿健診、肺がん(胸部レントゲン)検診

受付時間	会場
午前8時から8時30分	市障がい者センターあいとびあ(J R日向市駅西側)
午前10時から10時30分	切島山1区公民館(財光寺)
午後1時から1時30分	日知屋公民館

【注意事項】 ①胃がん検診は実施しません。 ②特定健診は、日向市国民健康保険の人だけです。 ③特定健診・長寿健診では、肝炎ウイルス検診、前立腺がん検診も同時に受診できます。 ④肺がん検診(40歳以上)は、国保以外の人でも受診できます。

※定員に限りがあります。早めに申し込んでください。

㊦いきいき健康課健康づくり係(☎内線2111)

⑤台所を清潔に保ち、調理器具などもきちんと洗浄・殺菌しましょう。同じものを食べていても、免疫機能が未発達な小さな子どもや抵抗力が弱い高齢者だけが発症することがあり、また重症化する場合もありますので注意しましょう。

食中毒が起きた場合、新たな感染者を出さないことが重要です。

もし食中毒が疑われたら自己判断せず、二次感染を防ぐためにも速やかに受診してください。

㊦いきいき健康課健康づくり係(☎内線2111)

環境について、みんなで楽しく学びましょう

環境市民会議にぜひ参加を

ecology

環

環境市民会議は、市民の皆さんが自由に参加して、日ごろから考え感じている環境やごみの問題について、学び意見を出し合う場です。今後の開催予定は次のとおりです。興味のある内容の日や都合のつく日だけの参加でもかまいませんので、気軽に参加してください。

7

環境講演会【第4回】

- ・日時 7月19日(木)、午後7時から
- ・場所 市中央公民館第4研修室
- ・内容 環境講演会「演題 省エネ、節電の取り組みと新エネルギー」
- ・講師 下津義博さん(環境カウンセラー、宮崎大学非常勤講師)

8

施設見学会【第5回】

- ・日時 8月29日(水)
 - ①午前の部 午前9時30分集合
 - ②午後の部 午後1時30分集合
 - ・見学場所 ひゅうがりサイクルセンタ― ※集合は市役所玄関まえ。マイクロスで移動します。見学時間は1時間30分程度を予定しています。
 - ・定員 午前、午後の部とも先着22人。
- 電話で申し込んでください。

9

視察研修【第6回】

- ・視察場所 国指定天然記念物川南湿原植物群落および高鍋湿原
- ・日時 9月14日(金)、午前9時集合
- ・集合場所 市役所玄関まえ。マイクロスで移動します。
- ・定員 先着21人。電話で申し込んでください。

10月以降も、毎月開催する予定です。内容が決まり次第、紙面などを通じてお知らせします。

㊦環境整備課環境公害係(☎53・2256)

夏の節電にご協力をお願いします

国の今夏における電力需給対策が決定され、九州電力管内でも、7月2日から9月7日の平日(8月13日から15日を除く)午前9時から午後8時の間、節電目標として一昨年比マイナス10%の節電要請がありました。

特に電力使用量が最大ピークとなる、日中の午後1時から4時ごろまでの節電が重要です。

ただし、熱中症への注意も必要ですので、年齢や体調など、それぞれの事情のもと、無理のない範囲で協力をお願いします。



郷土の文化財㊦ 古事記編さん1300年 天孫降臨と櫛ノ山

walk

今

年は日本最古の歴史書と言われている『古事記』が編さんされてから1300年目にあたり、県内各地でもさまざまな事業が実施されています。歴史探訪のコーナーでも、しばらくの間、『古事記』にゆかりのある市内の名所や旧跡などを紹介していきたいと思っています。

『古事記』は天地創造に関する神話から推古天皇の代(西暦554年〜628年)までの出来事が書かれています。本市はカムヤマトイワレヒコノミコト(後の神武天皇)が大和に向けてお舟出をされた美々津をはじめ、たくさんさんの伝説の地があります。

神代のころ、高天原(天上界)を治めていたアマテラスオオミカミ(天照大神)の孫のニギノミコトが、初めて地上の「筑紫の日向の高千穂の久士布流多気」に天降りました。

これを「天孫降臨」と言いますが、安政5(1858)年に天領富高陣屋の役人がまとめた記録には、降臨したニギノミコトが日知屋の櫛ノ山へ登り、当地の「天盤磐」と言う所から下界を眺望したと書かれています。

このことから、少なくとも幕末の日向には、そうした伝説があったことがわかります。また、櫛ノ山には大盤磐

櫛ノ山にあるストーンサークル



㊦文化スポーツ課文化財・文化振興係(☎内線6231)

を連想させる巨石のストーンサークルが残されています。

ところで気づいた人も多いと思いますが、天孫降臨の場所である「久士布流多気」と櫛ノ山は、同じ「くし」のつく地名です。そして、延岡市土々呂にも「櫛津(くしつ)」と言う所があり、これもニギノミコトが初めて海を眺めた所だと伝えられています。

櫛は古代人にとって神聖な道具だったとも言われています。

神話伝説の中には、偶然とは割り切れない歴史の謎が秘められているのかも知れません。

日向特産「へべす」のさわやかな香り、とうごう産「夏野菜」ぞくぞく入荷中

food

日

向特産「へべす」が入荷中です。さわやかな香りとはほどよい酸味が特徴。いろいろな料理の素材の味を引き立て、10月ごろまで楽しめます。「へべす」を使ったお漬物などの加工品も豊富に取り揃え。ぜひご賞味ください。



日向特産 へべす

●道の駅「日向」
営業は、午前9時から午後7時まで。
☎56・3809

道の駅とうごう「文月のイベント情報」

ふるさと市場

新鮮夏野菜・菌床椎茸・果実などが続々入荷中。

●日時 毎週水曜日と、土・日・祝日。午前8時から午後5時まで。

ふるさと味工房 そば打ちや、とうふづくりなどが体験できます。要予約 ☎68・3070

物産センター詩季彩 レストラン人気メニューは、牧水そば。奥日向路のお土産物など多数品ぞろえ。

東郷町ふるさと公社 ☎68・3072

●営業時間 午前8時30分から午後6時まで。

牧水公園 コテージ・テニスコートを利用しませんか？

●営業時間 午前8時30分から午後5時まで。

牧水公園ふるさとの家 ☎69・7720

夏

野菜の代表格、なす、かぼちゃ、スイートコーンなどが入荷中です。夏野菜がゴロゴロ入った栄養満点カレー。火の通りが早い食材を使うので短時間で仕上がります。ヘルシーにバーベキューなどいかがですか。



東郷産夏野菜
●ふるさと市場
☎68・3070



特定健診・保健指導業務に従事する嘱託職員を募集します

市は、特定健診や保健指導業務に従事する嘱託職員を、下記のとおり募集しています。

●採用期間 8月1日から一年間(再任可)

●勤務時間 月曜から金曜日の午前9時から午後4時まで(祝日を除く)。

●報酬 基本月額＝146,000円

●福利厚生 健康保険、厚生年金、雇用保険加入

●募集人員 若干名

●応募資格 次の要件をすべて満たしていること。①保健師または管理栄養士の資格を有する人。②健康で当事業の業務に適すると認められる人。③普通自動車の免許を有している人。

●募集締切 7月20日(金)まで。

●提出書類 市販の履歴書(上半身の写真を貼付)を持参、郵送不可。

●選考方法 一次＝書類審査(合格者のみに通知)、二次＝面接。

☎市 いきいき健康課健康づくり係(☎内線2182)

環境行政に関する2つの審議会委員を募集

市は、環境行政に関する事項について、市長の諮問に応じ審議する「環境保全審議会」と「廃棄物減量等推進審議会」の委員を、次のとおり募集します。

●募集人員 それぞれ4人程度

●任期 2年間

●応募資格 ①市内に在住または勤務する人で、応募日現在、満20歳以上の人。②環境問題に関心があり、年に数回程度、平日の昼間に開催される審議会に出席できる人。

※国、地方公共団体の議員および公務員、また、市のほかの審議会の公募委員の人を除きます。

●応募方法 環境整備課、市民課、各支所などで配布する所定の応募用紙(市ホームページからも入手可)を、直接持参、または郵送、ファクシミリ、メールで提出してください。

●選任方法 書類審査により選考。

●報酬など 会議出席の際は、市の規定による報酬・旅費を支給。

●募集期間 7月17日(火)まで。

☎市 環境整備課環境公害係・ごみ減量化推進室 ☎53・2256 ☎53・9260

☎883-0034 富高2203-1

✉kankyo@hyugacity.jp

～人材を求めています～ 宮崎県就職説明会(日向会場)

県と市は、県内で仕事を探している人たちと、人材を求める県内企業との出会いの場として次のとおり就職説明会を開きます。

●対象者 来春3月に大学など(高等学校を除く)を卒業予定の人、またはすでに卒業していて未就職の人、求職活動中の人、転職を考えている人など、県内での就業を希望する人であればだれでも参加できます。年齢制限はありません。

●日時 8月8日(水)、午後1時30分から4時まで。受付＝午後1時から。

●会場 ホテルベルフォート日向(日向市上町7-3)☎52・0001

●参加料および事前手続き 参加料は

無料。事前の申込手続きも不要です。

●参加企業 県内で人材を求める約20社が参加する予定です。参加企業などの詳細は、市および県庁ホームページに掲載してお知らせします。

●内容 企業の人事担当者との個別面談、各種相談コーナーなど開設。会場で配布される資料をもとに、興味のある企業の区画へ積極的に足を運んでください。企業の担当者と自由に話ができます。

●準備するもの 筆記用具

※参加を希望する人は、当日の混雑を避けるため、事前に「受付票」「企業訪問カード」を準備してください。宮崎県ホームページ→雇用産業→職業労働→宮崎県就職説明会コーナーから、「受付票」「企業訪問カード」などの様式をダウンロードすることができます。

☎市 商工港湾課商工振興係

(☎内線2636)

下水道排水設備工事責任技術者試験の受験者募集

下水道の機能を十分に生かすため、排水設備の工事は、責任技術者のいる指定工事店で行うことになっていきます。下記のとおり、責任技術者の試験が実施されますので、受験希望の人は市へ申し込んでください。

●試験日 11月11日(日)、午後2時から4時まで(受付＝午後1時から)。

●試験会場 宮崎市民プラザ4階ギャラリー(宮崎市橘通西1丁目1番2号)

●受験料 5,000円

●申込書配布期間 8月1日(水)から31日(金)まで。

●申込書受付期間 8月20日(月)から31日(金)まで。

●申込書配布および受付場所 市水道庁舎1階下水道課窓口

☎下水道課業務係☎54・4175



初心者向け太極拳教室の受講生を募集します

近年、手軽な健康法として注目されている太極拳。市太極拳協会は、下記のとおり初心向け教室を開きます。

興味のある人、体験してみたい人を対象にやさしく指導。終了後は、既存クラブの紹介や受講生でのクラブ発足を支援します。ぜひ参加してください。

●日時 7月27日(金)から9月28日(金)の間、毎週金曜(全10回)。午前9時30分から10時50分まで。

●場所 市武道館2階

●定員 先着20人(初心者に限る)

●参加料 1,000円(初回徴収)

●必要なもの＝室内シューズ、タオル

●募集締切 7月25日(水)まで。

●応募方法 はがき、またはファクシミリで。住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。

☎市 日向市太極拳協会(長友康代)

☎52・8107 ☎52・8107

☎883-0021 日向市大字財光寺3247

市立図書館の読書会参加者募集します

随筆・文学・小説の本を紹介したり感想を伝えあってみませんか？市立図書館は、下記のとおり読書会への参加者を募集しています。

●日時 8月10日(金)、午後1時30分から午後3時まで。

●場所 市立図書館多目的室

●定員 10人(18歳以上の人、先着順)

●応募締切 7月27日(金)

●申込方法 所定の申込書、封書、電話、ファクシミリ、電子メールのいずれかの方法で。氏名・住所・電話番号を明記してください。

☎市 市立図書館 ☎54・1919

☎54・5444 ✉library@hyugacity.jp

不妊に悩む人などが対象 ウイング交流会 in のべおか

不妊に悩む人、同じ悩みを持つ人と話したい人、専門家の話を聞いてみたい人など、「ウイング交流会 in のべおか」に参加してみませんか？

参加費は無料。交流会のほか産婦人科医、不妊カウンセラーによる講話など、年度内に4回開催する予定です。

●日時 初回＝8月16日(木)、午後1時30分から3時まで。グループミーティングや交流会を予定。

●会場 延岡保健所(延岡市大貫町1-2840)

詳しいことは、気軽に問い合わせてください。

☎市 延岡保健所☎0982・33・5373

母子家庭などが対象 医療事務講習会

財宮崎県母子寡婦福祉連合会は、母子家庭のお母さんや寡婦の人が医療事務の現場で生かせる資格を取得する講習会を開きます。次のとおり参加者を募集しています。

●対象者 母子家庭の母、または寡婦の人で、すべての日程に出席できる人。

●内容 医療事務講習

●場所 日向高等職業訓練校(日知屋8097-2)

●定員 20人程度

●受講期間 9月5日(水)から11月19日(月)の間、月・水・金の週3回、午後

6時30分から8時30分まで。

●受講料 無料(テキスト代8,925円、検定料7,000円は受講者負担)

●応募方法 市役所こども課などで配布する申込書を直接持参、または郵送。

●申込・郵送先 ☎880-0007 宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター内 財宮崎県母子寡婦福祉連合会

●募集締切 定員になり次第終了

●決定方法 書類選考。結果は応募者全員に文書で通知します。

詳細は同連合会☎0985・22・4696へ気軽に問い合わせてください。

☎こども課こども福祉係

(☎内線2173)

「いつ・どこ・誰」でも学べる 放送大学10月生を募集

放送大学は、平成24年度第2学期(10月入学)の学生を募集しています。

放送大学はテレビなどの放送を通して学ぶ遠隔教育の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の人が学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。出願期間は8月31日(金)までです。

●15歳以上の人なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

●18歳以上の大学入学資格を持っている人なら、入学試験はなく、全科履修生として入学でき、卒業すると、学士(教養)の学位を取得できます。

●ひとつの分野を体系的に学びたい人には、放送大学エキスパートを実施中。※資料請求は、放送大学宮崎学習センターまで。放送大学ホームページでも受付中です。

☎放送大学宮崎学習センター

☎53・1893

くらしの相談日

まずは気軽に相談してください。

人権相談

●7月5日(木)、午前10時から午後3時まで、社会福祉協議会東郷支所で。

●7月26日(木)、午前10時から午後3時まで、美々津公民館で。

行政相談

●7月18日(水)、午前10時から午後3時まで、社会福祉協議会東郷支所で。

●7月26日(木)、午前10時から午後3時まで、美々津公民館で。

●毎月第2、第3金曜日、午前9時30分から正午の間、市文化交流センター内男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんぴあ」でも受付中。☎55・1660

法律相談(☎要予約)

●7月19日(水)、午前10時から午後3時まで、市中央公民館で。市民課市民相談係(☎内線2140)へ事前予約を。

障がい者・難病者相談

●毎週金曜日、午前10時から正午まで、市障がい者センター「あいとぴあ」で。☎52・5434

出張年金相談(完全予約制)

●7月25日(水)、午前10時から午後3時まで、市中央公民館で。市民課国民年金係(☎内線2132)、または延岡年金事

務所☎0982・21・5424へ事前予約を。

介護保険の説明会

●7月17日(火)、午前10時から11時まで、健康管理センターで。女性による女性のための相談

電話または面接相談。月、火、木、金曜日の午後1時から4時まで、「さんぴあ」で。☎55・1660

青少年相談

電話または面接相談。毎週火曜から金曜日の午前9時から午後4時まで。対象は幼児、小・中・高校生、青年など。青少年育成センター内青少年相談室で。☎54・8181

こころの健康相談(☎要予約)

ひとりで悩まず、まずは誰かに相談してみませんか。

●7月17日(火)、午後1時から午後3時30分まで、日向保健所で。予約は☎52・5101へ。

中小企業の無料経営相談会

(勸県産業支援財団の専門員が経営をアドバイスします。)
●7月9日(月)、午前10時から午後3時まで、日向地区中小企業技能センターで。相談は無料。商工港湾課商工振興係(☎内線2636)へ事前予約を。

119Call

熱中症を予防する3つのポイント

熱中症とは、高温・多湿状態で、体温の調節ができなくなり、体内の水分バランスが壊れて発生する症状です。

①のどが渇かなくてもこまめな水分と塩分の補給を。②室温が28度を超えないようにエアコン、扇風機の活用を。高い湿度にも要注意。③外出時には、日傘や帽子を着用しましょう。

☎日向市消防本部 ☎52・2840

5月中の出動件数

救急	火災	救助
230	4	2

from Editor's room 編集後記

▶地球温暖化が黒潮の流れに影響し、それが台風の進路に影響を…という話を聞いたりもしますが、どうでしょう？ここ数年、市への台風直撃はありませんが、だからといって油断せず大雨被害などには十分な備えが必要ですね。H

▶今夏、県内でも59万件を対象に計画停電を実施(災害拠点病院など除く)。一回最長2時間程度、前日午後6時までに公表される。朝夕の打ち水、風鈴の音、へべすなど、五感で涼を過ごすひと工夫。みんなで支える節電の夏。S

地域安全掲示板

7月は青少年非行防止の強調月間です

楽しいイベントやお祭りが増える時期。昨年中の補導件数は289件のうち3分の2が中高生。その半数以上が深夜はいかいです。市内小中学校は7月21日から夏休みに入り、子どもたちは開放的な気分になりがち。わが子が外出するときは、行き先と帰宅時間を必ず把握しておくようにしましょう。

☎市民課市民相談係(☎内線2140)

5月中の交通事故件数

人身	物損	()内は対前年比
32(-8)	109(+7)	

納税は納期内に！

7月の納税

固定資産税	2期
国民健康保険税	2期

納付期限 7月31日(火)
口座振替 7月25日(水)

税目	7月	8月	9月
市県民税		2期	
固定資産税	2期		3期
国民健康保険税	2期	3期	4期
介護保険料1号	2期	3期	4期
後期高齢者医療保険料	1期	2期	3期

くらしのはてな？に やさしく答えます

Q. 遺族基礎年金制度について教えてください？

A. 遺族基礎年金は、次の①から④のいずれかに該当する人が死亡したときに、その人の子のある妻、または子に支給されます。子は18歳未満、障がいを持つ場合は20歳未満の人が対象です。

- ①国民年金の被保険者
- ②国民年金の被保険者であった人で、日本国内に住所を持つ、60歳以上65歳未満の人
- ③老齢基礎年金の受給権者
- ④老齢基礎年金の受給資格期間を満たした人

ただし、①または②に該当する人が死亡した場合は、その人が死亡した月の前々月までの被保険者期間のうち、保険料を納付した期間と免除を受けた期間を合算して3分の2以上あるか、死亡した月の前々月までの直近1年間に、未納がないことが条件になっています。

☎市民課国民年金係(☎内線2132)

お知らせ

Info

児童手当(旧子ども手当)現況届を提出してください

現在児童手当を受けている人は、子どもの養育状況などを確認するため「現況届」を提出する必要があります。この届は平成24年6月分(平成24年10月支給分)以降の児童手当を受けるために必要です。該当する人には6月中旬に「現況届」を郵送しましたので、必ず提出してください。

☎こども課こども福祉係(☎内線2163)

社会を明るくする運動7月は強調月間です

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築いていこうという全国的な運動です。

この運動は今年で第62回を数え、毎年7月はその強調月間です。期間中、日向地区保護司会を中心に啓発活動や各種大会への後援などの活動を行っています。「社会を明るくする運動」について、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

☎市民課市民相談係(☎内線2140)

重度心身障害者医療受給者証の更新時期が近づきました

重度心身障害者医療費助成制度は、心身に重い障がいがある人に対し、医療費の一部を助成する制度です。

現在、発行している受給資格者証の有効期限は7月末。新しい受給者証は7月中旬に受給該当者に発送します。

☎は問い合わせ先、☎は申請、または申し込み先の略です。

ひゅうが

くらしの情報

INFORMATION

受給者の住所や氏名、加入する健康保険、また受取口座などの変更があった場合のみ、福祉課16番窓口で変更手続きが必要です。受給者証、印鑑、健康保険証、通帳を必ず持参してください。制度の詳細については、気軽に問い合わせてください。

☎福祉課障がい福祉係(☎内線2171)

サマージャンボ宝くじ7月9日発売～県内購入を～

現在、日本で発売されている宝くじのうち、「サマージャンボ宝くじ」と「オータムジャンボ宝くじ」の2つの宝くじを市町村振興宝くじといい、その収益金は、各都道府県の市町村振興協会へ交付されます。

交付された収益金は、市町村の道路、公園、文化施設、福祉施設の整備など

「明るく住みよいまちづくり」のために活用されます。収益金の各県への配分は、その県の宝くじ販売実績に応じて交付されますので、ぜひ県内での購入をお願いします。

～出水期を迎えます～水位の変化に気をつけて

夏は楽しい水遊びの季節。また、魚釣りなどで河川へ立ち入る機会も増える時期です。市内を流れる耳川、小丸川流域には発電所があり、発電の出力変動に伴って、天候にかかわらず水量や水位が急に変化することがあります。また、これからは台風接近などによる出水期を迎えます。

河川に立ち入る場合は、河川水位の変化に十分気をつけてください。

☎市民課市民相談係(☎内線2140)

～平和を仕事にする～ 平成24年度自衛官を募集

募集種目		募集人員(全国) ※参考＝平成23年度	資格	受付 期間	試験期日 および合格発表		入(校)隊
一般曹候補生		・陸 約2,100人 (うち女子約80人) ・海 約1,000人 (うち女子約60人) ・空 約 700人 (うち女子約70人)	18歳以上 27歳未満	8/1 ～ 9/7	1 次	9/17	H25年 3月下旬 ～ 4月上旬
					2 次	10/4 ～ 11 の間 1 日	
					1 次合格	9/28	
					最終合格	11/9	
自衛官 候補生	男 子	・陸 約2,325人 ・海 約 500人 ・空 約 600人	18歳以上 27歳未満	年間を 通じて	受付時、試験時に お知らせ		採用予定 通知で お知らせ
	女 子	・陸 約 500人 ・海 約 60人 ・空 約 60人		8/1 ～ 9/7	試 験	9/23 ～ 26 の間 1 日	H25. 3月下旬 ～4月上旬
					最終合格	11/9	
航空学生		・海 約 70人 (うち女子若干名) ・空 約 70人 (うち女子若干名)	高卒 (見込含) 21歳未満	8/1 ～ 9/7	1 次	9/22	H25. 3月下旬 ～ 4月上旬
					2 次	10/13 ～ 18	
					3 次	11/10 ～ 12/13	
					最終合格	H25. 1/18	
予備自 衛官補	一般	約 1,400人	18歳以上 34歳未満	7/17 ～ 10/1	期日	10/12 ～ 15 の間 1 日	教育訓練 開始時期 H24. 7月以降
	技能	約 200人	18歳以上で国家 免許資格等		最終合格	11/16	

☎自衛隊日向地域事務所 ☎52・6914

人のうごき 平成24年6月1日現在

人口 62,717 人 (-49)
男 29,707 人 (-32)
女 33,010 人 (-17)

世帯数 25,171 世帯 (-5)

※数値は、平成22年国勢調査をもとに算出した推計人口(現住人口)。外国人登録者を含む。()内は、対前月比。

5月中異動	転入	転出	出生	死亡
単位:人	138	177	53	63



表紙のよこ顔

まるで港に巨大なホテルが出現したかのよう。細島港に5月26日・31日、海外からの大型クルーズ客船コスタ・ピクトリア(7万5千ト)が入港。全長253m、全幅32mで同港に寄港したクルーズ船では過去最大。およそ2200人の乗客が大型バス51台に分乗し、市内観光などに出発しました。

時をおき老樹の雫おつるごと
静けき酒は朝にこそあれ

牧水

熱い思いを短歌に込める2日間 第2回牧水・短歌甲子園

生涯にわたり人と自然を愛し続け、純粹な心で歌を詠んだ歌人若山牧水を顕彰しその心を広く伝えるとともに文学の振興を図り、また高校生 の自己表現力を高めるために、市は次のとおり「第2回牧水・短歌甲子園」を開催します。



写真は昨年12月に開いた、第1回大会の様子

昨年、県内の高校生を対象に、「第1回牧水・短歌甲子園」を開催したところ、ステージ上で繰り広げられた、県内5校の高校生によるさわやかな戦いが大変好評を呼びました。今年度は、参加校を募集する範囲を九州・沖縄8県に拡大、予選を通過した12校の選手たちが、熱い思いを短歌に込め、2日間にわたって戦います。

審査委員は、若山牧水記念文学館長で歌人の伊藤一彦さんのほか、歌人として活躍中の俵万智さん、大口玲子さん、笹公人さんの4人です。ぜひ、来場いただき、高校生のさわやかな戦いを観覧してください。

とき 8月18日(土)、19日(日)
ところ 日向市中央公民館

▼1日目 8月18日(土)、午前10時30分から午後5時15分まで(1時間程度の昼休憩あり)。

一次リーグ、午前の部Ⅱ4試合、午後の部Ⅱ8試合

▼2日目 8月19日(日)、午前9時30分から正午まで。

決勝リーグⅡ準決勝、決勝、表彰式、講評など。

2日間ともに入場は無料で、どなたでも観覧自由ですが、決勝日19日(日)は会場内の混雑が予想されるため、18日(土)の観覧をおすすめします。

●文化スポーツ課若山牧水係

☎0982・52・2111(代)

(☎内線6232)

〔今月の歌の意味〕

時おり老いた大きな樹の枝から雫が落ちるように静かな酒は、昼や夜でなく朝こそがふさわしい。

〔歌の鑑賞〕

大正2年5月におけるさとの坪谷を出た牧水は、再び東京での生活を始めた。妻も子もいる新しい生活だった。この歌は大正4年7月に、栃木県の友人を訪れた時の作である。

「朝は朝昼は昼とて相酌みつ離れがたくもなりにけるかな」とも歌っており、文字通り朝酒を酌んだことが分かる。「時をおき老樹の雫おつるごと」の比喩が見事である。

伊藤一彦(若山牧水記念文学館長)著
牧水かるた百首鑑賞「命の碎片」より

